

# 日本共産党区議団の 区議会速報



2021. 11. 2

日本共産党文京区議団 TEL 5 8 0 3 - 1 3 1 7

10月25日、東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪に新型コロナウイルス対策として出されていた「飲食店に対する営業時間の短縮要請」が全面的に解除され、11月1日には沖縄県でも解除されました。新規感染者数は減少していますが、暮らし、健康などで不安な状態は続いているのではないのでしょうか。この感染拡大が減少している今こそ、ワクチン接種と一体にPCR検査の抜本的拡充で、感染拡大を抑え込まなければなりません。

PCR検査キットの配布などで、ケア労働の職場や施設、飲食店、全ての人に安全に通常の生活が行える対策が必要です。医師、看護師を増やし、「臨時の医療施設」などの整備で病床の確保、保健師の増員など医療と保健所体制を強化すること、都立・公社病院の独立行政法人化をやめること、長引く緊急事態宣言下で壊された暮らしや営業への補償も重要です。

一方、英グラスゴーで国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が開催されています。これは、人間の活動が排出する温室効果ガスが原因になっている気候変動をどう防いでいくかを国連全加盟国192カ国が参加、話し合います。世界の気温上昇を産業革命前に比べ、1.5度未満にすることを目指す「パリ協定」の目標達成に向け、各国が協調して対策強化を打ち出せるかが焦点となっています。日本からは岸田首相が参加します。石炭火力発電に依存する日本政府に厳しい目が向けられるのではないのでしょうか。

党区議団は11月8日、暮らしに希望の持てる地方自治を求め「2022年度文京区予算編成に関する要望書」を成澤区長に提出します。

11月定例区議会、日本共産党区議団の質問は、次のとおりです。

## いたくら美千代 区議が代表質問します

11月12日(金) 午後3時頃 から(3人目)

- ◎来年度予算編成にあたっての「重点施策」について
- ◎シビックセンターの改修・維持管理費区民に説明を
- ◎シビック改修より不忍通りふれあい館等区民施設改修を優先すべき
- ◎目白台運動公園の指定管理事業者の管理について
- ◎東京ガスの供給停止事故を受けて、新たなマニュアル策定を
- ◎特養等入所者の食費・居住費負担増撤回求めよ
- ◎生活保護の扶養照会をやめ、申請権を広く周知すること
- ◎私立保育園の保育委託費の「弾力的運用」をやめるべき
- ◎育成室の増設、公設公営を維持すること
- ◎小中学校における特別支援教室の教育環境の維持向上を

### ぜひ傍聴においでください

手続きがあります。はじまる10分前頃に区役所(シビックセンター)22階の日本共産党控室においでください。(23階の区議会事務局に直接でも結構です。)

